

SSH 野外実習講座「Science Camp II」

を実施しました

- 実施日 事前指導：令和5年8月17日（木）
実習：令和5年8月19日（日）～22日（火）
- 参加生徒 普通科2年 SSHコース12名
- 連携機関名 星槎大学 立山カルデラ砂防博物館
- 内容



雄大な立山連峰のながめ

8月19日

気象のスペシャリストである武田先生（星槎大学客員教授）を迎え、まずはバスにて新潟県のフォッサマグナパーク・および同ミュージアムへ向かいました。写真でしか見たことがない東西日本列島の境目を目の前にして地学現象のダイナミズムを体感しました。断層をじっくり観察する人もいれば、東西で異なる水の性質に興味を持つ人もいました。文字通り東西を「またにかけて」記念写真を撮ったメンバーも。ミュージアムを見学した後は、糸魚川河口近くの海岸で新潟県の「県の石」であるヒスイを探しました。透明感のある白とその奥にうっすら見える緑や青が特徴です。今年は見事発見できた人もいたようです。夕食後は、富山駅付近の宿泊施設で武田先生の特別講義を受けました。気象の話から南極大陸での経験談まで、多様で興味深いお話をたっぷり聞くことができました。



東西の境目を見る



ヒスイは見つかるかな？



夕食後の特別講義

8月20日

バスに乗り込み一路立山へ。立山カルデラ砂防博物館にて福井先生が合流してくださいました。福井先生は日本における氷河研究の第一人者で、立山の地形に造詣の深い研究者です。まずは車窓からブナやタテヤマスギ、ハイマツなど植生の変化を観察しつつ標高1900mの弥陀ヶ原へ向かいます。途中で展望台から見た称名滝の美しさが印象的でした。弥陀ヶ原では亜高山帯の植物や、湿原の泥炭層にできる池塘を観察しました。食虫植物であるモウセンゴケの群生も見ることができました。バスで行ける最終地点の室堂ターミナルからは、必要な荷物をすべて背負って、今夜から二泊する雷鳥荘へ。道すがら雷鳥に出会うことができました。宿に到着すると、その直後に激しい雷雨が…。幸い1時間ほどで雨が上がり、立山連峰にかかる見事な虹を見ることができました。また、夜は福井先生による特別講義や、武田先生の星空ガイドを楽しみました。



弥陀ヶ原での研修



宿までもう少し



見事な星空

8月21日

前夜より山岳ガイドの多賀谷氏を迎え、いよいよ本研修のメインイベント雄山登山へ！多賀谷氏は登山の楽しみも危険もすべて知り尽くした山登りのスペシャリストです。湖面にくっきりと空を映す、美しいミクリガ池を通り過ぎ、立山の地質や氷山地形、可憐な花をつける高山植物について学びながら標高 3003mにある頂上を目指しました。山小屋がある一の越から先は、霧の中で岩だらけの道を登るという険しい道のりでしたが、なんとか無事登頂することができました。頂上では雲の切れ間から本物の氷河が見え、感動もひとしおでした。下山し夕食を食べた後は、雷鳥荘支配人の中橋氏に「山小屋の一年」と題した特別講演をしていただきました。食材やリネンの運搬、ごみの処理や温泉のメンテナンスなど山小屋運営の話題はもちろん、その社会的役割、行方不明者探索のお話など、どれも非常に興味深い内容でした。



いざ雄山登山へ！



鏡のようなミクリガ池



山頂にて氷河を見下ろす

8月22日

お世話になった雷鳥荘を出発し黒部ダムへ向かいます。黒部峡谷は、東西を 3000m 級の山脈に挟まれた秘境です。黒部ダム建設時には資材を運ぶトンネルを掘ることから始めなければならず、その工事は困難を極めました。その様子は木本正次の小説『黒部の太陽』に描かれ、映画化されたことでも知られています。この際のトンネルが、現在では「黒部アルペンルート」の一部として利用されているのです。室堂ターミナルからトロリーバス、ロープウェイ、ケーブルカーを乗り継ぎ到着した黒部ダムは、あまりにも壮大で圧倒されました。先人たちの偉業を目に焼き付けるとともに、科学の必要性と可能性をかみしめながら、北アルプスの山々に別れを告げました。



立山連峰を眺める



迫力満点のロープウェイ



黒部ダムにて

〈参加生徒の感想〉

- ・山登りを初めてやり、登る時辛かったが、先生方やみんなが優しく接してくれて無事登ることが出来て良かった。登ったあとの達成感が大きく楽しかった。夜見た星はとても綺麗で、良い思い出となった。
- ・星を見られたり、大きな山に登ったりと千葉で普通に暮らしていれば体験できないことを多く体験した。難しい内容も多かったがどれも興味深かった。
- ・今回の3泊4日を通して自分の生きている世界がまだまだ狭くもっといろんなことに興味を持っていろんなことを考えることが大切だと気付かされました。山登りや空を見ることで、普通に生活しているとなかなか気づかないことを見ることができ、とても楽しい講座でした。